

2024 年 12 月 1 日

一般社団法人日本音楽療法学会
学術・研究委員会

第 1 回日本音楽療法学会学術大会優秀発表賞 受賞者のおしらせ

2024 年度より、日本音楽療法学会学術大会優秀発表賞を創設する運びとなりました。

本賞は、学術大会で発表された演題の中から優れた演題を選考し、表彰するものです。

本年度（2024 年度）札幌で開催された第 24 回日本音楽療法学会学術大会で発表された演題が第 1 回の選考対象となりました。

選考は選考規定に則り、学術・研究委員会が行いました。一次審査で一般演題として採択された演題抄録を評価して、対象演題を選考します。二次審査は学会当日、演者のプレゼンテーションを含めて評価を行います。大会終了後に選考委員会にて審議し、理事会の承認を経て、一般演題 3 題、学生会員による演題 1 題の受賞が決まりました。

第 1 回優秀発表賞の受賞者と発表演題は、以下の通りです。

《一般会員枠》

受賞者	上羽（糟谷）由香（高知大学）
発表演題	音楽療法介入が自閉スペクトラム症児の選択性注意にもたらす影響：児童用注意機能検査を用いた検討
受賞者	益山ゆき（NPO 法人ユニークユニバース音楽療法 UNICO）
発表演題	音楽療法の「場」がもたらすクライアント・保護者・セラピスト三者の変容
受賞者	小柳玲子（音楽スペースおとむすび）
発表演題	音楽療法士の地域での実践をどう位置付けるか ーコミュニティ音楽スペース利用者へのアンケートからー

《学生会員枠》

受賞者	黒田未和依（東邦音楽大学）
発表演題	障害児の集団音楽療法における熟達者と学習者の話し方の差異～臨床場面を想定した実験の会話分析から～

受賞者には、賞状と副賞（口演・ポスター 3 万円、学生会員 1 万円）が授与されます。

来年度以降も優秀発表賞の授与は継続して行ってまいります。多くの会員が日々の臨床・研究活動の成果を学術大会で発表し、音楽療法の発展に貢献してゆくような流れができることを期待しております。